

まちの話題

①②③「金の石」は藩政時代に重税から中田地域を救った人物を描いた話。最後に出演者全員が声をそろえて故郷への思いをうたった ④「中田小で学んだことに誇りと自信を持って」大野真司校長があいさつ ⑤久々に再会した卒業生たちと教職員の会話が花が咲く ⑥⑦式典の様子



中田小学校 休校式

3月26日、周東町の中田小学校で休校式が行われました。

中田小学校は、児童数の減少により昨年度末で休校となり、4月からは高森小学校に統合されました。式には5人の在校生、卒業生や地元住民など約160人が出席し、創立127年の歴史に幕を閉じました。式典後、児童と住民の9人で、地元で伝わる昔話を題材にしたオペレッタ「金の石」を披露し、児童たちの最後の演技に会場からは大きな拍手が送られました。





みんなで盛り上げよう！ 子ども文化祭

3月12日、玖珂こどもの館で、恒例の「第29回玖珂町子ども文化祭」が開催され、子供たちによる意見発表やピアノ、琴の演奏などが行われました。初参加の玖珂女子ヒップホップ同好会は、軽やかなダンスを披露して会場を盛り上げ、その他にも、谷津神楽保存会や玖珂小学校マーチングバンドがにぎわいを添えていました。



卒園式を前に

3月1日にみわ保育園が老人福祉センターで、3月8日にさかうえ保育園がハーモニーみわで「お茶会」を行いました。園児たちは一年を通して礼儀や作法を教わり、卒園式を前にお手前を披露しました。緊張感漂うお茶の席で「お先に」「どうぞ」と声を掛け合い、おいしい和菓子とお抹茶をいただきました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



母との十年 「千の恩」

3月15日、錦ふるさとセンターで「にしき生涯学習講座よろず学問所」の最終講座が開かれました。地元住民68人が参加し、陶芸家の岡上多津子氏が、自身の経験をもとに認知症の母と日々を共にした十年間を「千の恩」「みーんな大切わたしも大切」などと表しながらユーモアを交えて話しました。



ご当地カルタで白熱！

3月12日、周東体育センターで「周東ふるさとカルタと遊ぶ子集まれ！」が開催されました。

このカルタは、次世代を担う子供たちに周東地域の自然や文化、歴史などを遊び感覚で伝えたいという思いから周東文化協会が作成したもので、真新しいカルタを前に大人も子供も熱戦を繰り広げました。



美しいアートに癒されて

3月17日、本郷ふるさと交流館で「グラスアート体験」が開催されました。

グラスアートとは、誰でも手軽に楽しめるステンドグラス風のクラフトです。参加者は夢中で工作を楽しんでいました。

作品を太陽にかざすと、光を柔らかく拡散させ、透明感のあるやさしい色合いが楽しめるそうです。



1人の卒業式

3月18日、美川小学校で第14回目の卒業式が行われました。1人の卒業生でしたが、多くの来賓の皆さんに見守られて温かい式になりました。広い体育館いっぱいに響き渡る14人の児童の歌声が出席者の涙を誘い、とても感動的でした。美川小学校での学びを糧に、立派に歩いていってくれることでしょう。



春風と舞う

3月20日、由宇町西区、緑風園のグラウンドで「年番神楽」が開催されました。由宇町を13組に分けて2年に1度交代で開催する神事で、江戸時代中期から伝わり、五穀豊穰、災厄退散を願って奉納されるものです。岩国市無形文化財指定の「笠塚神楽舞」や「奴舞」が披露され、荘厳な姿を今に伝えました。



日本のエジソンに続け！

3月25日、市役所で「藤岡市助博士記念科学振興表彰式」が行われました。科学の分野で成果を挙げた市内の小・中学生11人が出席し、市長賞、教育長賞、藤岡市助博士顕彰会長賞の賞状や盾、特別賞の目録などが贈られました。本市出身で「日本のエジソン」と称された藤岡博士に続く、未来の科学者が誕生するかもしれません。